

ドキュメンタリー映画「まちや紳士録」が上映されます。

以下、「まちなみネットワーク福岡」の代表で、「NPO法人八女町家再生応援団」代表でもある北島力さんからのメッセージです。映画のチラシは、資料室にあります。多くのご鑑賞をお薦めします。

「まちや紳士録」のチラシの表紙

「八女福島では、町並み保存をテーマにしたドキュメンタリー映画「まちや紳士録」が8月に完成し、広報宣伝にがんばっております。この映画の地元での上映を通じて、これまでの町並み保存運動を検証しつつ、これからの持続的活動の展開に向け、足元のまちづくり活動を見つめなおす機会にしていきたいと上映活動等に力を入れています。

また、10月からの全国上映を通じて、各地で町並みや町家等を活かしたまちづくりを進めておられる方々に力強いメッセージになればとも、期待しているところです。

劇場での公開は、12/7～13の1週間、福岡市天神のKBCシネマ(連日朝10時～1回上映)が決まり、本格始動しています。」

詳しくはこちらへ <http://www.yame-machiya.info/>

KBCシネマ・前売券の取扱:「文化芸術情報感アトリエ」開館10時～20時(休館・水曜)
福岡市博多区下川端町3-1リバインセンタービル7F TEL: 092-281-0103

今月のおすすめ 資料室新聞コーナー

カウンターの新聞から見る世相 福岡アジア都市研究所 副理事長 副島広巳

たいていどこの図書館に行っても新聞が架けられており、リアルタイムの情報を知るツールとしてよく読まれています。ここURCの都市政策資料室にも、全国紙である朝日、読売、毎日、日経の4つの新聞と地方紙である西日本新聞が置いてあります。

ただその置き方が普通の図書館とは少し違って、新聞各紙の一面記事が重ならないようカウンターの上に並べて置いてあるのです。こうするとそれぞれの新聞の一面の記事をまとめて横並びで読むことができます。

ご存知の通り新聞紙の一面右上の一番目立つ記事は「トップ記事」といわれ、まさにその新聞の顔です。日本を代表するそれぞれの新聞のトップ記事をざっと斜め読みするだけで、今の世相を最大公約数的に知ることができ、また各々の新聞社が立つ位置を俯瞰することもできます。

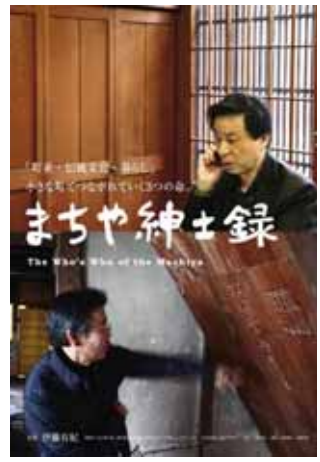
そのことが垣間見えた興味深い出来事がありました。やや旧聞に属しますが、平成25年9月30日(月)の朝刊各紙のトップ記事です。

その日は本年度上半期最後の節目の日だったこと、前日29日(日)には大阪府堺市長選が行われ日本維新の会の候補者が敗れたことなどの話題がありました。さて各紙の朝刊トップ記事はどうなっていたでしょう。

まず朝日のトップ記事は「堺市長選 維新敗れる」でした。次に読売は「サイバー防衛 日米指針に」、毎日「98大学 入試問題外注」、日経は「世界初の大型水素基地」、そして最後に西日本は「モノ高く家計細る秋」。

見事各紙バラバラに分かれたトップ記事。何故このようになったかの推論はしませんが、各紙のトップ記事が全く別々というのも珍しいのではないのでしょうか。

新聞のトップ記事は大事件が起きると各紙ともそれ一色になります。一方平穏な日であれば記事はそれ相応にばらけていきます。さて昨今、何が起こってもおかしくない世の中ですが、新聞が横一線になって、全段ぶち向きで大見出しを出すような出来事が起きないことを願わずにはおられません。



マスコミでみるURCの今 - 最近1ヶ月の情報を中心に -

新聞

- 2013.10.27 **朝日新聞 朝刊 35p**
(いんたびゅーFUKUOKA) 九大理事・副学長、安浦寛人さん/福岡県
安浦寛人理事長のインタビュー記事
- 2013.10.26 **東奥日報 朝刊 15p**
告知板/十和田 29日に「まちづくり市民フォーラム」
市民研究員OB藤浩志さんがパネリストとして参加するイベントの告知
- 2013.10.25 **科学新聞 1p**
大規模なオープンオンライン講座
日本オープンオンライン教育推進協議会が10月11日に旗揚げ 安浦寛人理事長が役員候補に
- 2013.10.23 **西日本新聞 朝刊 25p**
住民組織「姪浜まちづくり協」宿場町の歴史伝え日本一 都市計画の全国大会 町家保存や散策ツアーガイド 多彩な取り組み 高評価
研究主査OB大塚政徳さんが事務局長を務めるまちづくり協議会が日本まちづくり大賞を受賞
- 2013.10.23 **毎日新聞 夕刊 7p**
憂楽帳:新・五大都市
畠山尚久研究主査のコメントが紹介される。

- 2013.10.14 **読売新聞 朝刊 31p**
[ホッ人ふくおか]古い建物の再生に取り組む 吉原勝己さん51
市民研究員OBの吉原勝己さんの活動が紹介される。
- 2013.10.13 **毎日新聞 地方版 朝刊 23p**
3連休:秋の青空満喫 各地でイベント/大分
別府で開かれた「全国路地サミット2013」で市民研究員OBの吉原勝己さんが、福岡路地市民研究会事務局長として自らの活動を紹介
- 2013.10.10 **東奥日報 夕刊 1p**
連載/あもり人ごよみ 189/藤浩志(ふじ ひろし)さん(53)「十和田奥入瀬芸術祭」アーティスティック・ディレクター「期待の時間」つくりたい/市民研究員OB藤浩志さんが紹介される。
- 雑誌**
- 2013.10.1 **九州マーケティング・アイズ 2013秋 October vol. 67**
18~20p アジアと九州の今 アジアフォーカス・福岡国際映画祭2013が華やかに開催されました。
交流推進係長OB山本公平さんが連載記事を執筆
- 2013.10 **よかネット No.112**
4p 公共施設マネジメントセミナー報告
谷口博文主幹研究員がコーディネーターを務めたセミナーの開催報告
6~8p 皆様から寄せられた「よかネット」へのご意見、近況などの紹介
7p 短期研究員OB井澤洋一さんの近況が紹介される。
8p 山崎三枝司書の近況が紹介される。
- 2013.9 **季刊中国総研 2013 vol.17-3 NO. 64**
53~65p 論文 広島市の新たな成長基盤、「知識創造都市」形成の課題 岡田允特別研究員の論文が掲載される。
- 2013.9.25 **議会月報 第54巻第9号 通号第632号**
13~15p 所管事務調査(1)公益財団法人福岡アジア都市研究所に関する事項について
- 2013.7.1 **九州マーケティング・アイズ 2013夏 July vol. 66**
2~6p 九州マーケティングの潮流「九州成長戦略の鍵は、現場マケ女の育成にあり！」を主任研究員OGの山下永子さんが執筆
18~20p アジアと九州の今 アジアフォーカス・福岡国際映画祭2013開催！9月13日(金)~23日(月祝)キャナルシティ博多にてアジア交流の新たなステージ！
交流推進係長OB山本公平さんが連載記事を執筆

所員雑感「～URC勤続25周年を迎えて～韓国・釜山の旅」6 四日目 山崎三枝

ホテルで、ゆっくりした朝を迎えました。

ソさんとの待ち合わせまで、ホテルの近くにある釜山市図書館(写真上)に行きました。(これも職業病?)釜山の図書館は西面の繁華街にあって、分館だというのに立派な施設です。500ウォン硬貨でロッカーに荷物を預けて閲覧室に入ります。1Fの図書コーナーは書架と書架の間が非常に狭く、人一人通るのがやっとでした。ここで、釜山発展研究院の資料にどのようなものがあるか調べたかったのです。はじめはいろいろ見て回りました。どんな分類体系なのか?うちでメインの518.8の分類に相当するものは何番か?などに興味がありました。ところが、書名を見るのに辞書がいるのです。辞書を片手に書架の中を巡りました。

しばらく見ていると、釜山発展研究院の研究報告書を発見!それを持って、カウンターに行き、ここが出した本で他にどんなものが所蔵されているかを聞きました。韓国語で話しかけましたが、返事は英語。私の韓国語が通じないことがちょっとショック!それでも、60冊の所蔵があることをすぐに調べてくれました。

その後、2階の雑誌コーナーを巡りホテルに戻ると、辞書がないのに気がつきました。ソさんに会う前、図書館に行って先ほど対応してくれた司書に、空のカバーを見せて「サジョヌン オブソジョッソヨ」というと非常に心配してくれて、調べてくれました。今のところ忘れ物は届いていないということでしたが、他に心当たりがないので、明日もう一度来ることを約束して、ソさんとの約束の場所へ急ぎました。

西面のロータリー周辺は、地上に横断歩道がありません。それを地図上で解らず、何度も階段を上ったり降りたり、少し遅刻しました。ほんのちょっとの遅れただけなのに、ソさんは「何があったの?」と大変心配してくれました。

釜山発展研究院に行く前、弁論大会の時審査員をしてくださった事務所長の金さん(写真下 右から二人目)に合うため、釜山国際交流財団に寄りました。空港で出迎えてくれたソンさん(写真下 右)が取り次いでくれ、ソさん(写真下 左)を紹介してくれたことを感謝しました。このとき金さんの日本語の著書をいただきました。釜山国際交流財団は市役所の前のガラス張りの建物(写真中)の13階にあり、たくさんのスタッフが働いていました。福岡の国際交流協会には時々来られているようで、資料室が同じビルのすぐ上の階にあること伝え、「5階に来られたら是非6階にも来てください。」とお願いしました。



以下次号へつづく